

飯田飯田東たのしい子ども食堂

23331119 鈴木衣舞

23331131 宮崎佑里

23331326 中村千尋

23331329 松林采音

子ども食堂の 紹介

- ・ 場所：清水北部交流センター
- ・ 料金：無料（保護者同伴も）
- ・ 開催日程：
毎月第2土曜日(8月除く)



場所

▶ 静岡市清水区八坂町2110-2 清水北部交流センター

- 高齢者と地域住民が相互に交流することを促進する事業
- 地域の伝統及び文化を伝承する事業

例えば... 介護予防の体操や運動
地域の老人クラブ支援



一日の流れ(9/14)

▶ <9 : 0 0>

集合・料理準備開始

▶ <1 0 : 0 0>

子どもが来始める

▶ <1 1 : 5 0>

食事準備（全員で協力）

▶ <1 2 : 0 0>

食事

《献立》

- 焼きそば
- マスカット
- 梨

▶ <1 3 : 0 0>

子ども解散・片付け

参加人数

- ▶ 子ども 22人(幼児～小学6年生)
- ▶ 保護者 8人
- ▶ 実施者 1人
- ▶ ボランティア 5人
- ▶ ピエロ 1人(くらふおん)

子どもの様子

- ▶ ピエロと遊ぶ
 - バルーンや皿回しなどおもちゃをたくさん用意してくれている
- ▶ 友達同士で遊ぶ
 - 年齢関係なく遊んでいる子が多い
- ▶ 積極的に手伝ってくれる
 - 主に小学生の子どもたちが机やいすを用意してくれる
- ▶ おいしそうに食べる
 - おかわりする子どもがたくさんいて今回は完食

当日の日程

- ▶ **参加日** 10月12日 土曜日
- ▶ **活動時間** 9 : 00 ~ 14 : 00
- ▶ **参加人数** 子ども 20人 大人 7人
- ▶ **ボランティア** 10人

その日の献立

- ・ タコライス
- ・ 紅茶プリン
- ・ ワカメスープ
- ・ ぶどう



仕事内容

- ▶ **献立の確認** → メニューごとグループ分け
- ▶ **調理** → タコライス わかめスープ 紅茶プリン ブドウ
- ▶ 盛り付け、配膳、片付け、掃除、器具確認
- ▶ **子どもと遊ぶ**
- ▶ ハロウィンにちなんで**お菓子を配る**
- ▶ **地域の方から頂いた野菜やフルーツ**を保護者の方々におすそわけ



作業の流れ

- ▶ 受付、流れ説明
- ▶ 役割分担して料理開始
- ▶ 料理の提供
- ▶ 子ども達の見送り・片付け
- ▶ 解散

工夫

- ▶ 子ども達が楽しめるイベントを用意している
- ▶ 子どもによって好き嫌いのある食材を予想し、二通り用意していた。
- ▶ 残しても良いので、足りないことが無いように多めに盛り付けしている。

子どもの様子

受付完了後友達と遊ぶ

- ・トランプ、折り紙など交流館で用意されているおもちゃ
- ・自分で持参したもの

隣の部屋で開催されているイベントの参加後、子ども食堂へ。

自分で使うものは自分で用意と片付け(椅子やおもちゃ)

配膳を自ら手伝う姿も見られた



参加者について

・知った経緯

友達から教えてもらう

学校で配布されるプリントや、掲載されているポスター

・子どもの声

いつもはピエロが来る

おいしいと言いながらご飯を食べていた



保護者の様子

子どもと一緒に子ども食堂に参加

子どもが遊んでいる様子を見守る

一緒にご飯を食べる

地域の方が寄付してくださった野菜や果物を持ちかえる



参加した感想

- ▶ 寄付される食材がとても多い

→基本はお金の寄付であるため、寄付されたお金で食材を買うが、現物寄付の場合もあり、すべてを献立に入れられないため保護者に配ったり、ボランティアで分けたりした。

- ▶ 想像よりも人数が多い

→今回は特に多かったと聞いた。私は近所で行われていた子ども食堂の存在を全く知らなかったが、子どもたちや保護者の間では認知されていることが分かった。

参加した感想

- ◆ 参加人数が思っていたより多かった
- ◆ ご飯がおいしかった
- ◆ ボランティアの方々が温かかった
- ◆ 様々な工夫が施されていた
- ◆ 幅広い世代が参加していた。

参加した感想

- ▶ 「子ども達が満腹になること」を目的にしており、満足できるような食事を工夫していて素晴らしい。
- ▶ より多い頻度や場所で開催することができれば、子どもの栄養不足の解消やコミュニティの場になるのではないか。
- ▶ 学生ボランティアを除くとかなり人数が足りないと感じた。